

関係機関によるがん検診受診率向上の取り組みについて

資料1-1

取り組み項目		(1)がん				
指標項目	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値
			H22		H29	R5
			79.8		69.5	70.0
	2	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、 人間ドック等を含む)	基準値		実績値	目標値
			H23		H30	R5
			肺	19.9%	31.0%	40%
			胃	28.7%	38.9%	40%
大腸			27.9%	37.4%	40%	
乳	46.3%	48.9%	50%			
子宮頸	37.3%	42.6%	50%			
取り組み施策		概要				
1	発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんに対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。				
2	早期発見	がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検診の受診率向上を図る。				
3	情報発信・相談支援	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。				

1. 関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
1	がん医療研修会を開催し、がん治療の理解を深める。【市薬剤師会】
	国立がん研究センターたばこ政策支援部との共催で、禁煙支援研修として看護職、医療従事者を対象にタバコと健康被害、看護職とタバコ等看護職が患者に禁煙支援できるスキルを学ぶ研修を開催した。 (令和元年6月8日、参加者72名 看護職・理学療法士・作業療法士)【県看護協会】
	バランスのとれた食事、野菜あと一皿(100g)の推進。【県栄養士会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、生活習慣病の予防に関する研修会を実施。また、喫煙の健康影響に関する研修会を実施予定。【熊本産業保健総合支援センター】
	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	粉じん作業及び特定化学物質、石綿等取扱作業を行う事業場に対する監督指導の実施。【労働基準監督署】
	生活習慣病予防(がん予防)の視点から、減塩の重要性や野菜摂取量の増量について、講習会等を通じたボランティア活動の中で市民へ啓発を実施。【市食生活推進員協議会】
	東区保健子ども課、ささえりあ「あさひば」さん等の協力を得て、生活習慣病、介護等の予防を目的とし、「栄養」「運動」「社会参加」を三本柱とする「ビジョン」を基本にして、サロン活動等を展開。実施した「基本チェックリスト」「体力測定」等を分析し、それにあつた「筋トレメニュー」等を実施する「健康長寿計画」を計画。(コロナ禍のため中止)【東区代表】
	パパ・ママセミナーにおいて、たばこの有害について啓発活動を行っている。若いパパ・ママの喫煙が減少している様に思える。【北区代表】
	熊本市の委託事業として、肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診を実施している。【市医師会】
2	検診ごとに専門医からなる委員会を設置し、年に数回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診の受診率向上、精度管理の向上に努めている。【市医師会】
	胃がん検診内視鏡検査では、年2回精度管理研修会を開催し、対策型のがん検診として検査手順の遵守、画像評価や指標となる数値を基に精度管理の向上に努めている。【市医師会】
	子宮頸がん検診において、高度異形成の方のフォローアップが重要という観点から、上皮内病変疑いのうちCIN3に分類された受診者について、二次所見や治療経過を追跡調査し早期発見・治療に繋げている。【市医師会】

2	看護の日記念講演会で住民、医療関係者、看護学生を対象に「子宮頸がん」を経験した女優から「がん検診」の大切さを訴えた内容と、がん専門看護師から「がんになっても自分らしく過ごすために」の内容の講演会を開催した。(令和元年5月13日、参加人数373名)【県看護協会】
	県民を対象とした県民公開講座「早期発見があなたを救う 今すぐ始めよう口腔がん検診」を開催し、がん検診の重要性とかかりつけ歯科医での定期健診の必要性を啓発した。【県歯科衛生士会】
	加入者本人に対し生活習慣病予防健診(含、大腸・胃・肺・乳・子宮頸がん検診)を実施。【協会けんぽ】
	被扶養者に対し、特定健診とがん検診の同時受診勧奨DM送付。【協会けんぽ】
	じん肺健康診断及び有害業務にかかる定期健康診断の確実な実施の指導。【労働基準監督署】
	食生活推進員協議会活動の中で、特定健診の受診やがん検診の受診について、協議会内や市民に対して啓発を実施。 【市食生活推進員協議会】
3	がんに関する基本的知識、化学療法や放射線療法などの治療について等の正しい知識を患者のケアに活かすための研修会を開催した。(令和元年8月28日 参加者看護職73名)【県看護協会】
	在宅療養を行うがん患者にQOL向上を目指したケアを提供するために看護職を対象に「がんに関する在宅療養について」の研修会を開催した。(令和元年11月7日 参加看護職65名)【県看護協会】
	がん患者の緩和ケアについて基本的知識、疼痛コントロールについて等患者のQOL向上を目指したケアを提供するために看護職を対象に研修会を開催した。(令和元年9月7日 参加者看護職90名)【県看護協会】
	職域におけるがん検診マニュアル、がんに関する情報をホームページ、メールマガジンに掲載。 【熊本産業保健総合支援センター】
	社会保険事務所より、保健師派遣をしてもらい、健康相談を実施。【県漁業協同組合連合会】
回覧物を速やかに回覧する。(今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により会議等は開催できていないため) 【北区代表】	

## 2. 関係機関・団体における今年度からの新たな取り組み

今年度の新たな取り組み	巡回がん検診が後期のみとなったため、受診機会の喪失に繋がらぬよう、前年度の受診者全員に受診勧奨ハガキを送付している。【市医師会】
	シティFM健康サロンで「今だからこそ禁煙をはじめませんか」についてアナウンス(令和2年5月18日) 【県看護協会】
	まちの保健室で「がん検診」促進のためのリーフレットを購入したが、コロナ禍のためまちの保健室は中止中。 【県看護協会】

## 3. 関係機関・団体における新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取り組み	巡回がん検診において、スタッフを増員し受診者へのマスク着用の徹底や非接触型体温計での検温など、感染リスクの軽減に努めている。【市医師会】
	地域での調理実習等の開催が難しい状況であるため、食生活推進員協議会お勧めの生活習慣予防のための簡単レシピを掲載したリーフレットを作成し啓発を行う予定。【市食生活推進員協議会】
	この他、がんに関する取り組みではないが、「3密」の回避や消毒の実施等感染症防止に関する取り組みを実施。【多数】

## 4. 行政における主な取り組み状況等

取り組み状況等	
1	新型コロナで子育てサークルは休止状態であるが、民協会議や高齢者健康サロン支援等の保健事業、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、がん検診等に関する情報提供や特定健診の受診を啓発。 ・平成31年度地位におけるがん検診等の啓発実績 中央区(19校区90回 2,717人) 東区(18校区59回 1,341人) 西区(13校区163回 3,705人) 南区(21校区129回 2,140人) 北区(20校区133回 3,970人)
	中学生や高校生の授業「妊娠・子育て」講話の中で、喫煙、がん予防について啓発した。
	すこやか栄養セミナー講座受講者に対し、「がんとがん予防」について啓発した(郵送)。

	地域イベントでの健康ブースで、健康まちづくり推進員と協力してがん検診啓発を行った。
	健康まちづくり推進員養成講座でがん検診啓発を行った。
	年間重点啓発計画を立て、計画的に啓発活動・健康教育を実施した。
	市役所ロビー等などを利用した啓発ブースやイベント等の機会を活用し、受動喫煙に関する情報提供や日常生活における生活習慣病の予防法等について啓発を実施した。
	各種がん検診について、特定健康診査健診受診券交付に併せてチラシを同封し受診勧奨の広報を実施した。(国保特定健康診査健診対象者約11万人)
	特定健康診査実施機関一覧において、受診可能ながん検診も併せて掲載し、受診勧奨を実施した。
	国の指針に基づき、肺・胃・大腸・乳・子宮頸がんの5種の検診を実施した。
	各種がん検診について、市政だより、市ホームページ、ラジオ等で受診勧奨の広報を実施した。
	乳がん・子宮頸がん検診において、対象年齢となる偶数年齢者の受診期間を5月末まで猶予する特例受診許可証を発行した。
	令和元年11月～令和2年2月に大腸がん検診の郵送検診を実施した。
2	協会けんぽやがん対策協定企業等との連携による受診率向上のための啓発を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ扶養者への特定受診券送付時に市がん検診の案内を同封</li> <li>・協会けんぽ加入者に、集団検診の受診勧奨を実施(植木・城南地区の集団検診)</li> <li>・がん対策協定企業へ情報提供や広報を依頼</li> <li>・ピンクリボン月間に合わせた生命保険会社の協力による保険外交員からのがん検診受診勧奨(リーフレット等)</li> </ul>
	がん対策を推進する企業1社とがん対策企業等連携協定を締結した。(R1.7.3)
	各種がん検診について、70歳以上の方の自己負担金を無料化した。
	がん検診対象者へ個別に受診勧奨通知を送付した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん及び子宮頸がん無料クーポン券及び再受診勧奨はがき(乳がん・40歳女性:5,048人、子宮頸がん・20歳女性:3,706人)</li> <li>・大腸がん検診勧奨ちらし(満40・50・60歳になる市民:28,569人)</li> <li>・乳がん検診受診勧奨通知(満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性:41,506人)</li> <li>・子宮頸がん検診受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性:40,664人)</li> <li>・肺がん・胃がん・大腸がん検診の巡回日程ちらし(満62、65、68、70歳になる市民:39,033人)</li> <li>・乳がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(次年度満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性:40,568人)</li> <li>・子宮頸がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性:40,080人)</li> </ul>
	働き世代や子育て世代を対象にしたがんサロンを毎月1回開催し、がん患者を支援(令和元年度は11回開催、令和2年3月は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)
3	がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設(平成25年7月1日) 令和元年度の相談件数:63件 がんピアサポートセミナー第2部として、患者交流会(みんなで話そう会)を開催(1回)
	「熊本でがんと共に生きるinくまもと森都心プラザ図書館」(がんに関する講演会と相談会)を開催(R1.8.10)
	図書館と連携した啓発を実施。くまもと森都心プラザの図書館に、がんに関連する資料を設置(各種がんに関するパンフレット、がん相談・がんサロンの案内リーフレット、検診の案内、熊本県版がん情報冊子等)

#### 5. 行政における今年度からの新規取り組み

今年度の新たな取り組み	令和2年7月1日から本格運用を開始した健康ポイント事業と連携して、がん検診受診後に『健診ポイント』を付与。
-------------	---

6. 行政における新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組み	すこやか栄養セミナー講座受講者に対し、「がんとうん予防」について医師講話資料を郵送にて啓発した。
	巡回がん検診において、検診機関に消毒液・マスクの配布を行い、感染症対策に対応するスタッフを増員するための予算措置を行った。
	乳がん・子宮頸がん検診において、対象年齢となる偶数年齢者の受診期間を猶予する特例受診許可証を通常5月末までのところ、緊急事態宣言期間を考慮し、7月末までと延長した。

※参考(1)

熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等は含まず

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	
肺がん	対象者数	341,855	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496
	受診者数	27,676	25,127	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748
	受診率	8.1%	6.3%	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%
胃がん	対象者数	341,855	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496
	受診者数	11,688	11,022	10,556	10,107	9,904	9,477	8,658	8,952	8,926	10,596
	受診率	3.4%	2.8%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.3%
大腸がん	対象者数	341,855	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496
	受診者数	21,704	24,708	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725
	受診率	6.3%	6.2%	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%
乳がん	対象者数	189,203	220,204	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738
	受診者数	12,826	13,124	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403
	受診率	12.7%	11.2%	10.6%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%
子宮頸がん	対象者数	284,779	313,542	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096
	受診者数	20,166	19,936	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275
	受診率	14.0%	12.5%	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%

※参考(2)

無料クーポン利用率

(R元実績)

(単位:人)

対象者	利用者	利用率
5,048	1,252	24.8%
3,706	402	10.8%

※胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診率=(該当年度受診者+前年度受診者-2年連続受診者)/対象者数(胃がんはH28年度以降)

※対象者数は住基人口により算出。